

日本沿岸域学会 研究グループ 研究計画提案書

平成20年 3月31日

研究テーマ	グローバル競争時代の沿岸域空間の活用に関する研究						
目的	<p>経済のグローバル化が進み、生産活動は国境を越え、国際的な水平・垂直分業体制で行うことが当たり前の時代となっている。これらの国際分業体制を支えているのは、ICTと国際物流であることは論を待たない。一方、グローバル経済競争の中で、ロシア・中国などの資源大国の政策的資源の囲い込みが始まっています。このような中、昨年我が国海洋基本法の成立に伴い、海洋資源の開発・利用もますます注目されています。本研究は、このような現状に鑑み、特に、関西沿岸域に焦点を当てながら、沿岸域におけるレアメタル資源再利用のための空間利用のあり方や国際リサイクル物流インフラの在り方について新たな知見を深めようとするものである。</p>						
活動内容	<p>沿岸域における施策展開主体及び利用者は多岐にわたるが、我が国の現状では必ずしも適切な連携・情報共有が図られておらず、国際競争力向上・活性化におけるネックとなっている。構成員は主に関西圏における国際物流に関係する研究者・事業者・行政担当者から構成する。</p> <p>2年間を目処に研究討論会を月1回程度開催し、資源物流の需要サイド、供給サイド、インフラサイドのそれぞれに関し見識を有する研究者、実務者等を講師に招き講演と意見交換を行い、グループ構成員(関西圏の国際物流関係者)間における知見の共有、蓄積を図り、大阪湾沿岸域における国際資源再利用施策のあり方とインフラの在り方への提言につなげる。</p>						
グループの構成	氏名	会・非	専門分野	所属・役職	住所	電話番号	FAX番号
世話人	黒田勝彦	会	港湾政策	神戸市立工業高等専門学校 校長(神戸大学名誉教授)			
	木俣 順	団体	国際物流	中央復建コンサルタンツ(株)チ ームリーダー			
グループ構成員	森 隆行	非	国際比較	流通科学大学商学部 教授			
	竹林幹雄	非	モデル分析	神戸大学大学院工学研究科 准教授			
	石黒一彦	非	国際貿易予測	神戸大学大学院海事科学研 究科 講師			
	秋田直也	非	陸上輸送分析	神戸大学大学院海事科学研 究科 助教			
	中原正顕	非	広域港湾行政	国土交通省近畿地方整備局 地域港湾空港調整官			
	吉見重則	非	地域港湾行政	京都府土木建築部港湾課 参事			
	難波孝行	非	地域港湾計画	大阪府港湾局企画部計画課 総括主査			
	井上純一	非	港湾施設整備	井上工業(株) 社長			
	村上考司	非	土木施設建設	(株)大林組本店土木工事部			
	町田一兵	非	アジア物流	(株)日通総合研究所			
油谷進介	会	港湾戦略	中央復建コンサルタンツ(株) 常務取締役				
島津雅納	団体	港湾計画	中央復建コンサルタンツ(株)				
<p>他に研究者(大学、民間研究所、コンサルタント会社等)、港湾物流関係事業者(港運事業者、倉庫会社、埠頭公社)、民間企業(建設会社、電力会社)、行政(国・自治体)関係者(国土交通省港湾関係者、兵庫県、和歌山県、大阪市)が参画予定、計40名程度</p>							
日程表	研究期間	平成20年 4月～平成22年 3月			開催頻度	月1回	
	開催場所	神戸地方合同庁舎(近畿地方整備局)会議室			研究運営費		